

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午後】
部会名	小学校 図画工作部会

1 提案テーマ 『ものの良さを感じ取り、自らつくりだす喜びを味わう子どもを目指して』

2 単元(題材) 「みてみて!ぼく、わたしのびっくりハット!」

3 学年 第1学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とかかわり

②感じ取ったことを手などや体全体を働かせて表現したり、描いたりつくったりする活動を、[共通事項]と関連させる指導と評価の具体化

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2内容

A 表現 (2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。

ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。

ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。

B 鑑賞 (1) 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。

イ 感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

[共通事項] (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

6 実践に向けての課題意識

本学級の児童には、入学当初、図画工作の授業に苦手意識をもつ子がいた。そこで、身近な自然物や人工物など様々な材料を自分たちで集めさせることで興味をもたせたり、絵本の読み聞かせや友達との会話からイメージをふくらませたりしながら、自らつくりだすことの喜びを存分に味わってほしいと考えた。

7 実践の概要

○学習指導要領に沿った年間指導計画・評価計画について

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
様々な種類の材料にふれ、つくりだす喜びを味わおうとしている。	感じたことや想像したこと、偶然起きたことを生かし、表現している。	材料や用具の組み合わせや、使い方、表現方法を工夫している。	身の回りの作品の形や色、構成の良さや面白さに気付いたり、感じたりしている。

○言語活動の充実について

・製作場面では、友達と互いの作品の良さを認め合うとともに、相談したり、真似たりしながら活動した。

○指導方法の工夫について

・児童の意欲を引き出し、イメージをふくらませるために、導入として 関連した絵本の読み聞かせを行った。

・様々な材料の良さにふれられるよう、材質や形、大きさが異なるものを豊富に揃えた。

・材料に合わせて接着の方法が考えられるよう、素材ごとに材料をまとめて置き、接着方法を示した大きな配置図を掲示した。

○評価の工夫について

・児童が製作中に友達の作品を参考にしたり、教師が一人ひとりのつぶやきや工夫、友達との関わりを見取ったりするために自由に動ける広いスペースの多目的室を使用した。

・最後の鑑賞の場面では、使った材料や工夫した点を発表する場面を設定した。

8 成果と課題

<成果>・図工に苦手意識をもつ児童が、自ら材料を集めたり、作ったりすることで楽しみながら活動していた。

・様々な材料の良さや面白さに気づき、もっと工夫できないかと一人ひとりが意欲的であった。

<課題>・児童が集めてきた自然物などの材料をより効果的に扱うための工夫が必要であった。

・毎時間全員の工夫や製作の過程を細かく見取ることが困難であった。

9 予想される協議の柱

・感じ取ったことや想像したことを豊かに表現するための指導方法について

・毎時間における個々の児童の意欲や製作過程を評価する方法について